



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社横田製作所 上場取引所 東
 コード番号 6248 URL <https://www.aquadevice.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 義之
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務グループリーダー (氏名) 小出 寿 (TEL) 082-241-8674
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	765	8.4	89	189.8	91	179.8	62	116.1
2022年3月期第2四半期	706	△12.0	31	△56.1	32	△55.2	28	△41.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	33.35		—					
2022年3月期第2四半期	15.43		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,783	2,429	87.3
2022年3月期	2,866	2,447	85.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,429百万円 2022年3月期 2,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	43.00	43.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	1.3	247	5.3	247	5.1	172	5.5	91.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	1,873,500株	2022年3月期	1,873,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	160株	2022年3月期	160株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	1,873,340株	2022年3月期2Q	1,873,340株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、日銀が発表した9月の全国企業短期経済観測調査（短観）によると、円安などを背景とした原材料コストの増加が景況感を下押しし、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）は、大企業製造業ではプラス8となり前回6月調査から1ポイントの悪化となっております。

このような状況のもと、当社は相対的優位性のある既存領域を確保しつつ、技術開発力を高め、既存製品の改良や性能向上による差別化により新たな需要分野への展開・進出を図り、適正な人員配置と組織改革による生産性の向上とコスト削減に注力することにより採算重視の経営に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の受注は、972,891千円（前年同期比13.2%増）となりました。売上高につきましては、765,313千円（同8.4%増）となりました。営業損益は、人件費と旅費及び交通費の増加などで販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高の増加に伴う売上総利益の増加によって、89,879千円（同189.8%増）の営業利益となりました。経常損益は、営業利益の増加によって、91,548千円（同179.8%増）の経常利益となりました。この結果、当第2四半期累計期間の四半期純利益は、62,474千円（同116.1%増）となりました。

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

単一セグメント内の製品別の受注及び販売の実績は、次のとおりであります。

[ポンプ製品]

受注は、官公需の受注、電力関連企業からの受注が減少したものの、機械・電子関連企業、海外企業からの受注が増加したことなどにより、467,394千円（前年同期比1.8%増）となりました。売上高につきましては、鉄・非鉄関連企業への売上が減少したものの、機械・電子関連企業への売上が増加したことなどにより、386,193千円（同2.8%増）となりました。

[バルブ製品]

受注は、官公需の受注が増加したことなどにより、172,008千円（前年同期比21.3%増）となりました。売上高につきましては、機械・電子関連企業への売上が増加したものの、官公需の売上が減少したことなどにより、81,976千円（同0.3%減）となりました。

[部品・サービス]

受注は、官公需の受注が減少したものの、電力関連企業、機械・電子関連企業からの受注が増加したことなどにより、333,488千円（前年同期比28.9%増）となりました。売上高につきましては、官公需の売上が減少したものの、電力関連企業、機械・電子関連企業への売上が増加したことなどにより、297,143千円（同19.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末と比較して82,670千円減少し、2,783,666千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少180,648千円、受取手形及び売掛金の増加11,071千円、商品及び製品の増加15,361千円、仕掛品の増加28,946千円、原材料及び貯蔵品の増加37,546千円、無形固定資産の増加16,742千円、投資その他の資産の減少17,063千円によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末と比較して64,591千円減少し、354,042千円となりました。これは主に、未払金の減少122,011千円、賞与引当金の増加39,046千円によるものであります。

また、純資産は、前事業年度末と比較して18,079千円減少し、2,429,623千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上62,474千円、剰余金の配当80,553千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比較して180,648千円減少し、1,285,097千円となりました。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、63,837千円（前年同四半期は88,262千円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上91,548千円、減価償却費の計上19,742千円、賞与引当金の増加39,046千円、売上債権の増加11,071千円、棚卸資産の増加81,855千円、未払金の減少129,171千円、法人税等の支払19,747千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、36,250千円（前年同四半期は37,557千円の減少）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出19,249千円、無形固定資産の取得による支出17,001千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、80,560千円（前年同四半期は80,489千円の減少）となりました。これは、配当金の支払80,560千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月11日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,715,745	1,535,097
受取手形及び売掛金	321,549	332,620
商品及び製品	1,487	16,849
仕掛品	69,113	98,060
原材料及び貯蔵品	107,542	145,089
その他	1,216	972
貸倒引当金	△2,570	△2,660
流動資産合計	2,214,086	2,126,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,792	61,515
機械及び装置(純額)	99,316	98,513
工具、器具及び備品(純額)	10,381	18,763
土地	366,082	366,082
その他(純額)	549	953
有形固定資産合計	540,121	545,828
無形固定資産	1,982	18,724
投資その他の資産	110,146	93,083
固定資産合計	652,250	657,636
資産合計	2,866,337	2,783,666
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,414	50,740
未払金	144,185	22,174
未払法人税等	23,758	16,878
製品保証引当金	4,323	4,471
賞与引当金	38,250	77,296
役員賞与引当金	—	7,537
その他	41,110	45,226
流動負債合計	295,043	224,324
固定負債		
退職給付引当金	67,112	69,905
役員退職慰労引当金	56,478	59,812
固定負債合計	123,590	129,717
負債合計	418,634	354,042
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,583	130,583
資本剰余金	122,580	122,580
利益剰余金	2,194,714	2,176,635
自己株式	△175	△175
株主資本合計	2,447,702	2,429,623
純資産合計	2,447,702	2,429,623
負債純資産合計	2,866,337	2,783,666

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	706,148	765,313
売上原価	433,256	424,515
売上総利益	272,892	340,797
販売費及び一般管理費	241,873	250,918
営業利益	31,019	89,879
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	80	80
作業くず売却益	2,045	1,581
雑収入	451	817
営業外収益合計	2,577	2,479
営業外費用		
売上債権売却損	268	235
固定資産除却損	279	574
廃棄物処理費用	318	—
雑損失	10	—
営業外費用合計	876	810
経常利益	32,719	91,548
税引前四半期純利益	32,719	91,548
法人税等	3,809	29,073
四半期純利益	28,910	62,474

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	32,719	91,548
減価償却費	23,780	19,742
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△807	90
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△200	148
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,477	39,046
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,795	7,537
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,484	2,793
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21,593	3,333
受取利息及び受取配当金	△80	△80
売上債権の増減額 (△は増加)	100,951	△11,071
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,715	△81,855
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,146	7,326
未払金の増減額 (△は減少)	△156,920	△129,171
その他	△38,563	6,442
小計	△58,786	△44,170
利息及び配当金の受取額	80	80
法人税等の支払額	△29,556	△19,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	△88,262	△63,837
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,960	△19,249
無形固定資産の取得による支出	△1,170	△17,001
その他	△426	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,557	△36,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△80,489	△80,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,489	△80,560
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△206,309	△180,648
現金及び現金同等物の期首残高	1,420,718	1,465,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,214,408	1,285,097

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ポンプ及びバルブの製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	生産高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	281,533	△0.5%
バルブ製品	43,245	+13.0%
部品・サービス	144,045	+34.8%
合計	468,824	+9.5%

(注) 金額は、製造原価によっております。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	受注高(千円)	前年同期比	受注残高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	467,394	+1.8%	396,798	+9.5%
バルブ製品	172,008	+21.3%	163,137	△0.1%
部品・サービス	333,488	+28.9%	155,145	+20.8%
合計	972,891	+13.2%	715,080	+9.3%

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

区分	販売高(千円)	前年同期比
ポンプ製品	386,193	+2.8%
バルブ製品	81,976	△0.3%
部品・サービス	297,143	+19.8%
合計	765,313	+8.4%